

「あいおい損保の社会的責任 CSRレポート2004」の発行について

2005年3月22日

あいおい損害保険株式会社（社長：児玉正之）は、今般当社としての初めてのCSRレポート「あいおい損保の社会的責任 CSRレポート2004」を発行しました。

本レポートは、2003年4月～2004年3月（一部直近までの取り組みを含む）のあいおい保険グループのCSR活動の推進状況をステークホルダーの皆様との関係で整理して、現状とこれからの取り組み姿勢を報告しています。

本レポートを、ステークホルダーの皆様との双方向のコミュニケーションツールと位置付け、今後さらなるコミュニケーション強化に取り組み、充実させてまいります。

また、2005年4月からは、経営企画部内に「CSR推進室」を新設し、CSR経営の推進を重要課題と位置付け、CSRの取り組みを一層強化していきます。

本レポートの概要

1. 主な掲載項目

- (1) 当社のCSRの考え方
- (2) 企業理念・目指す企業像、行動規範
- (3) コーポレートガバナンス
- (4) コンプライアンス
- (5) 各ステークホルダーへの責任（現状とこれからの取り組み）

2. 特徴

- (1) 当社として初回発行であり、「企業理念」「目指す企業像」の実現に向け、「行動規範」に沿った日々のCSR活動の推進状況をステークホルダー（お客様、株主、代理店、社員、取引先、地域社会・国際社会、地球環境）の皆様との関係で整理して、現状とこれからの取り組み姿勢を報告しています。
- (2) できるだけわかりやすい開示とするために、複雑な項目についてもイラストやグラフ等を用いて簡潔に表現することを心がけました
- (3) 国際的なガイドラインであるGRIの「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」*1を参照しています。
- (4) 関連する専門用語については、巻末に解説を掲載しました。
- (5) レポートの仕様や取り組みについて、専門家である第三者の評価を受けることが、今後の改善に向け重要であると考え、新日本インテグリティアシュアランス株式会社（新日本監査法人100%子会社）により「AA1000基本原則・保証基準」*2の視点から評価いただいた「第三者所見」を国内会社で初めて採用し掲載しました。
- (6) 地球環境に配慮し、古紙100%再生紙を全ページに使用いたしました。

3. 発行部数など

A 4 版、カラー、45 頁、20,000 部発行

* 3 月中には、本レポートと同内容を当社ホームページでも公開予定です。

(URL:<http://www.ioi-sonpo.co.jp/>)

*1 GRIガイドライン

GRIとは『Global Reporting Initiative』の略で、米国NGOのCERES (Coalition for Environment Responsible Economies) や国連環境計画(UNEP: United Nations Environment Programme) が中心となって1997年に設立された、世界各国のNGO・企業・コンサルタント・会計士団体・事業者団体等が参加するネットワーク組織です。

当初は環境報告書のグローバルスタンダードをつくる目的で発足しましたが、その後、環境だけでは不十分で、経済・社会を加えた3つの側面から企業が持続可能性を報告することが必要であるとし、GRIが2000年6月に発行(2002年8月改訂)した、経済・環境・社会的パフォーマンスの3要素(トリプルボトムライン)から構成される持続可能性報告の枠組み(サステナビリティ・レポート・ガイドライン)のことを「GRIガイドライン」といいます。

*2 AA1000 本原則・保証基準

AA1000 基本原則並びに AA1000 保証基準は、組織の持続可能な発展をサポートするアカウントビリティ(説明責任)の枠組みとして、英国のNGO『The Institute of Social and Ethical Accountability』により開発され、AA1000 シリーズとして公表されています。

AA1000 基本原則は、組織がアカウントビリティへの公約を果たすにあたり信頼性を確保するための基本原則で、以下の3原則により構成されています。

- ・重要性 - ステークホルダーが必要とする重要な情報が記載されているか
- ・完全性 - 記載すべき重要事項を決定するための情報を完全に把握しているか
- ・対応性 - ステークホルダーの関心・懸念に的確に対応し、開示しているか

AA1000 保証基準は、組織のサステナビリティ報告の信頼性と質、および報告書を作成するプロセス、システム、能力を評価、立証、強化するために開発された基準です。

詳細については、<http://www.accountability.org.uk/>で公開されています。

以上